

第 237 回東京支部技術フォーラムのご案内

超音波検査において、Bモードによる形態情報に加えて、硬さ（歪み）の情報であるエラストグラフィーの有用性が広く認識され、その普及が進んでいます。乳腺領域を代表例として、その臨床応用が広がりつつある中で、肝臓領域への活用も盛んになってきています。

今回、超音波技術研究班は「治療につなげる超音波検査」シリーズ第5弾として、「肝の硬さ」を取り上げます。医療機器分野からは超音波検査とMRI検査におけるエラストグラフィーの最前線を、臨床的分野からは慢性肝炎の現状と肝臓の発生機序について、一刀両断に解説していただきます。

「なぜ今、肝臓の硬さの評価が必要なのか？」について知識を深めて行きませんか？

日 時 : 2018年11月30日(金) 19:00~21:00 (18:30 受付開始)

会 場 : JR 東京総合病院 地下1F 講堂

〒151-8528 東京都渋谷区代々木 2-1-3

参加費 : 会員 1,000円 非会員 2,000円 学生会員 無料 学生非会員 500円

事前申込 : 不要

プログラム : ~治療につながる超音波検査~「肝の硬さ」

1) 19:00~19:20

MRIのエラストグラフィの原理と症例の紹介

GEヘルスケア・ジャパン(株) 五十嵐太郎

2) 19:20~19:40

超音波検査のエラストグラフィの原理と症例の紹介

GEヘルスケア・ジャパン(株) 大野 長行

3) 19:40~20:40

肝臓の発生機序について

東京大学医学部消化器内科 建石 良介

問 合 先 : 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 超音波技術研究班

E-mail jsrt.tokyo.ud@gmail.com

担当 超音波技術研究班